

令和8年9月定例会付議予定議案

招 集 日

令和8年9月25日(金)

議 案

14件

〔 予算(2)、条例(5)、工事請負契約の締結(1)、財産の取得(2)、
訴えの提起(1)、基本的な計画の策定等(1)、事件議決(2) 〕

【主な内容】

- ・ 令和8年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)
- ・ 令和8年度埼玉県県営住宅事業特別会計補正予算(第1号)
- ・ 警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 埼玉県5か年計画の策定、埼玉県防犯のまちづくり推進計画等の変更及び第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の廃止について

報 告

25件

〔 専決処分報告(7)、公社等の経営状況報告(5)など 〕

一般会計補正予算(第3号)

一般会計 歳入歳出予算 **113億9,168万2千円**
(補正後累計 2兆4,564億6,583万3千円)

主な内容

- 高校教育改革に資する拠点整備 21億4,017万1千円
〔繰越明許費の設定 8,694万2千円〕
- 公共事業の追加 82億3,620万4千円
〔債務負担行為の設定 限度額 33億円〕
- 公共事業の適正工期の確保 〔繰越明許費の設定 133億3,057万円〕

高校教育改革に資する拠点整備

1. 背景

国の「高校教育改革に関する基本方針」(R8.2)

- 生産年齢人口の減少や人材不足が進行
- AI・DXの進展に対応できる人材育成が必要

▶ 高校改革の方向性

- ・AIに代替されない能力や個性の伸長
- ・経済・社会の発展を支える人材育成

⇒ **県立熊谷工業高校**が、改革を先導する拠点として
国から採択(事業期間:3年間)

2. 目指す教育改革

新たな工業教育モデルを開発

→ **産業プロセス全体を理解**し、ICTを駆使して生産性向上や高付加価値化を担うことができる高度な実践的人材を育成

- ・5学科(建築・土木・電気・機械・情報技術)の横断的学習
- ・生産工程(設計→測定→制御→製造→解析→改善)を一体的に捉える学び
- ・企業、大学、地域との最先端の学び

3. 補正予算の内容

計 21億4,017万1千円

(1) 改革先導拠点の整備 1億2,062万5千円

(うち繰越明許費の設定 8,694万2千円)

ア 施設・機器等の整備

- ・施設改修、デジタル技術を活用した学習環境整備

イ 新しい工業教育モデルの開発

- ・高度な専門人材を育成するカリキュラム構築

(2) 基金への積立 20億1,954万6千円

【施設改修(イメージ)】

＜普通教室＞



＜企業・大学・地域との協働拠点＞



【機器整備(イメージ)】

＜土工機械シミュレータ＞



4. 今後のスケジュール

令和8年度

教育モデル開発着手

令和9年度

実証・改善

令和10年度

確立